







テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 1
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

令和元年 **8**月の**優しさ**通信

目次

- (1)  元気な高齢者 介護の助手に 厚労省、自治体に交付金
- (2)  認知症と生きる 施設・在宅近づく限界点
- (3)  認知症と生きる 予防は「夢のまた夢」?
- (4)  認知症と生きる 自助・公助に限界 当事者参加で共生を実現
- (5)  高齢者、猛暑3日で熱中症リスク
- (6)  平均寿命 男女とも最高

♥ 今月の福祉用具-床ずれ防止関連用具 その1 じょくそう 褥瘡発生メカニズム

(1) 元気な高齢者 介護の助手に 厚労省、自治体に交付金

- *厚生労働省は元気な高齢者の介護への参加を後押しします。
- ・掃除やベッドメイク、配膳など補助的な仕事をする「助手」として高齢者を活用する自治体に交付金（介護インセンティブ交付金）を出します。
- *介護業界で働く人は2016年度末時点で190万人。
- ・厚労省は2025年度までに245万人が必要になり55万人が不足すると予測。
(2019年7月3日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

(2) 認知症と生きる 施設・在宅近づく限界点

問われる「先進国」の知恵

- *認知症の有病率が世界で最も高い“先進国”となった日本。
- ・認知症の有病率（2017年）は日本が2.33%で最も高くなっています。
- *認知症で行方不明後に死亡が確認された人は、2018年までの5年間で3割増え508人。
- ・介護、看病疲れで起きた殺人事件は31件、自殺した介護者は230人。
- *2000年に導入した介護保険は、当初3兆6千億円だった給付費が2017年度には約10兆円。
- *特別養護老人ホームはベッドがあっても人手が不足し入所できないケースも。
- ・2017年調査で利用率が9割を下回る施設が3割弱。
- *認知症の高齢者が保有する資産は、2030年度に215兆円に。
- *成年後見制度の利用者は2018年末で218,000人。
- *65歳以上の認知症患者は推計517万人（2015年）。
- (2019年7月9日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)

テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 2
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

(3) 認知症と生きる 予防は「夢のまた夢」？

発症リスク診断に活路

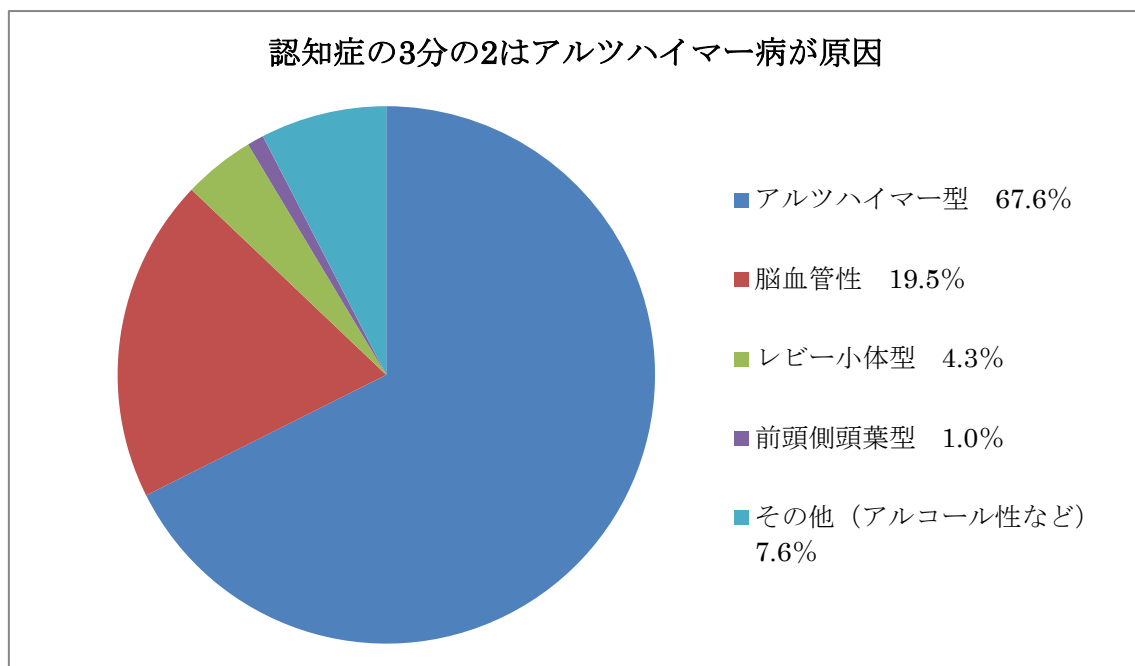
*2000年以降、製薬会社約30社は治療薬の開発に6000億ドル（約65兆円）以上投じてきましたが、予防に結び付けていません。

*英医学誌に掲載された研究では、遺伝的な要因は7%にすぎず「認知症の35%は予防できる」と指摘。

*英研究チームによると、最大の要因は聴力低下で、耳が遠くなると9~17年後に認知症になる傾向。

・中等教育（12~14歳）の未修了者もリスクが高く、「教育を受けることで認知機能が高まると同時に健康に気を配るようになる」と説明。

*国立がん研究センターと国立長寿医療研究センターは、血液でがんの早期発見を目指して「マイクロRNA」を測る手法がアルツハイマー型、脳血管性などほとんどの認知症の発症を予測できることをみつけました。



(2019年7月10日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 3
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

(4) 認知症と生きる 自助・公助に限界

当事者参加で共生を実現

- *福岡市が世界で初めて自治体として普及策を取り入れた認知症のケア技法「ユマニチュード」。
 - ・「見る」「話す」「触れる」「立つ」の4つを柱とする基本技術。
 - ・2014年に日本に6番目の国際支部。
 - *和歌山県御坊市の「認知症の人と共に築く総活躍のまち条例」。
 - ・市、当事者、関係機関だけでなく、市民のほか、企業や商店など事業者の役割を盛り込み、地域ぐるみで取り組むことをうたっています。
 - *認知症の人は2030年には744万人、2050年には797万人と65歳以上の5人に1人を超えます。
 - *国や自治体の「公助」や、本人と家族の「自助」には限界があります。
 - ・地域で知恵を出し合う「共助」社会が求められています。
- (2019年7月11日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



(5) 高齢者、猛暑3日で熱中症リスク

- *猛暑が3日続くと高齢者が熱中症にかかるリスクが高まること、名古屋工業大などの研究で明らかに。
 - *一般の成人は、当日の暑さが熱中症の直接要因。
 - *高齢者は、当日だけよりも前々日からの暑さの蓄積が大きな発症リスクに。
- (2019年7月19日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



テーマは「**優しさ**」福祉について考えます。 優しさ通信NO. 4
ここでは障害者のことを、「障がい者」と記しています。ご理解ください。

(6) 平均寿命 男女とも最高

*2018年の日本人の平均寿命は女性が87.32歳、男性が81.25歳で、ともに過去最高を更新。

- ・2017年に比べて女性は0.05歳、男性は0.16歳延びました。
- ・過去最高の更新は女性が6年連続、男性は7年連続。

*平均寿命は死亡率が今後も変わらないと仮定し、その年に生まれた0歳児があと何年生きられるかを表す数値。

*2018年の合計特殊出生率(1人の女性が生涯に産む子の推計数)は1.42。

- ・同年に生まれた子供の数は918,397人で過去最低。
- ・日本人の人口は10年連続で減少。

*自立して生活できる年齢を指す「健康寿命」は、2016年時点で女性は74.79歳、男性は72.14歳。

国・地域別の平均寿命(2018年)

順位		男性		女性
1	香港	82.17	香港	87.56
2	スイス	81.4	日本	87.32
3	日本	81.25	スペイン	85.73
4	ノルウェー	81	韓国	85.7
5	スウェーデン	80.78	スイス	85.4

注：スイス、スペイン、韓国は2017年の数値。

(2019年7月31日 日本経済新聞記事より抜粋・引用)



今月の福祉用具－床ずれ防止関連用具 その1

じょくそう 褥瘡発生メカニズム

*褥瘡：血流障害による皮膚組織の障がい、圧迫、ずれ、湿潤といった外力が骨突出部位に加わり、皮膚の血流が途絶え組織障がいを起こした状態。

*加齢等による栄養不足、食事の量の低下などによる貧血や脱水症状、痩せていることや抵抗力の低下、内臓組織の耐久性低下などによっても褥瘡を起しやすくなります。

(参考：福祉住環境コーディネーターテキスト&福祉用具専門相談員研修用テキスト・介護用品カタログより)